

提出仕様書番号：第 MJX - 26G01号

殿

仕 様 書

熱電対用補償導線

品 名： J X - H - G G B F - B T

サイズ： 1 P × 2 . 0 mm²
(7/0.6)

2008年 9月 1日 発行

株式
会社

福



電

本 社： 大阪市東成区中本1-6-2
T E L (06) 6974-0123 (代) 〒537-0022
F A X . (06) 6974-0128

柏原工場： 兵庫県丹波市氷上町氷上18番地
T E L (0795) 82-4041 (代) 〒669-3651
F A X . (0795) 82-4508

東京営業所： 東京都大田区蒲田本町1丁目4番3号
T E L (03) 5714-1411 (代) 〒144-0053
F A X . (03) 3731-5550

柏原工場品質管理室

承 認 作 成



1. 適用範囲

この仕様書は、J熱電対と組み合わせて使用する、ガラス系絶縁 ガラス系シースを施した
すずめっき軟銅編組しゃへい付き耐熱用平形補償導線に適用する。

2. 関連規格

- (1). J I S C 1 6 0 2 ----- 熱 電 対
- (2). J I S C 1 6 1 0 ----- 熱電対用補償導線

3. 構造

補償導線の構造は、付表及び次の各事項の通りとする。

3 - 1. 導 体

下記材質の素線をより合わせたものを使用する。寸法、素線の構成は付表の通りとする。

J X $\left\{ \begin{array}{l} + \text{脚 (正脚)} \text{ ----- 鉄} \\ - \text{脚 (負脚)} \text{ ----- コンスタタン} \end{array} \right.$

3 - 2. 絶 縁 体

- (1). 導体上にガラス系の二重横巻を行う。
- (2). 二重横巻上にガラス系の一重編組を行う。
- (3). ガラス系編組に耐熱ワニスを塗布し、焼き付け乾燥処理をする。

3 - 3. し ゃ へ い

- (1). 絶縁体 + 脚 - 脚を平行に並べ、すずめっき軟銅素線で編組を行う。
- (2). 編組密度は80%以上、編組厚さは付表の通りとする。

3 - 4. シ ー ス 編 組

- (1). ガラス系で一重編組を行う。
- (2). 耐熱塗料を塗布し、乾燥処理をする。
- (3). シースの色は黄とする。

4. 絶縁体の識別

+ 脚 (正脚) ----- 赤 (白地に赤色ガラス系1本をスパイラル状に入れる)
- 脚 (負脚) ----- 白

5. 表 示

補償導線の適当な個所に製造者名略称・トレードマークを連続に印刷したテープを縦添えする。

6. 試験項目

補償導線は下記の試験を行い、各項目及び付表の値に合格すること。

- (1). 外観試験
- (2). 構造試験
- (3). 絶縁抵抗試験
- (4). 耐電圧試験
- (5). 往復導体抵抗試験
- (6). 熱起電力試験

7. 荷 造 り

完成品は1条ずつドラム巻又はタバ巻とし、運搬中損傷しない様に適当な荷造り包装を施す。

付表：補償導線の構造及び特性表

項 目		寸 法 ・ 特 性	
対 数		P	1
導 体	公 称 断 面 積	mm ²	2.0
	構 成 本 / mm		7/0.6
	外 径	mm	1.8
絶 縁	厚 さ	mm	0.37
	外 径	mm	2.54
しゃへい	ｽｽﾞメｯｷ軟銅素線径	mm	0.12
	編 組 厚 さ	mm	0.3
シ ー ス	編 組 厚 さ	mm	0.45
	仕上がり外径(短径×長径)	約 mm	4.1 × 6.6
耐 電 圧		D C V / 分	500
絶 縁 抵 抗		- K m	0.1 以上
往 復 導 体 抵 抗		/ Loop · m	0.8 以下
熱 起 電 力		m V	50 : 2.585 ± 0.140 100 : 5.269 ± 0.140 150 : 8.010 ± 0.140
〔 基 準 接 点 0 〕			

構造断面図

